

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【5班】

地区コミ	八重地区コミュニティ協議会	参加人員	10人
開催日時	平成25年 7月12日（金） 19:00 ～ 20:30		
開催場所	八重地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	川畑 善照	○	司会進行
	杉菌 道朗	○	
	永山 伸一	○	議会活動報告
	議員名	出欠	担当
	持原 秀行	○	記録・報告書作成
	帯田 裕達	○	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 鳥獣防除・対策について

《意見交換の概要》

- ◆ 全国的なもので八重のみの問題ではない。耕作してもイノシシ・シカが増えており、何か対策をしないと農業はできなくなる。特にシカ対策として網の設置も重要である。狩猟した獲物を食に供する方法なども考えるべきと考えるがどう考えるか。
- ◇ 東郷の鳥丸・藤川地区は、普通の電策では守れないため、残念ながら人が住んでいる所と山間部との境をネットで囲んだ。根本的解決ではないと考えるが現状では致し方ないと思う。
- ◇ 食肉等への活用方策が必要である。伊佐市・阿久根市などの取り組みを調査し、本市でもできないか検討してみたい。
- ◆ 柵をすることは、害獣を守っている状況である。イノシシ・シカを守ることより人や農地を守る施策を立てる必要があるのではないかな。
- ◇ 将来的には、六次産業化も視野に入れコミュニティ事業としてビジネスに繋がらないか、議会としても具体的に動いていきたいと考えている。

2 支所のあり方・方向性について

《意見交換の概要》

- ◆ 財政も厳しいと思うが、住民サービスの低下に繋がらないよう配慮していただきたい。支所に相談しても支所の権限が減ってきており、無理であるように感じられる。大きな川内地域と同等に見てもらっても困るので小さな地域にもバランスをとっていただきたい。
- ◇ 支所の在り方については、市も慎重に考慮中でありもう少し時間をいただきたい。皆様方のご意見等もしっかり伝えていきたいと考えている。
- ◆ 八重地区においては、高齢者が2kmから3km強の市道を年3回草刈りしている。草払いは年々厳しくなっている状況である。地域住民の手で届かない箇所、崖など高い所については、行政の方で手当てしていただきたい。
- ◇ 作業班の予算措置等を充実し、道路等に生い茂った草木の伐採も取り組んでいる状況である。

《主な要望等》

- ◆ カーブミラー・ガードレールも草で覆われている、牧場までの道路は非常にカーブが多い、鹿大牧場・天文台等、市の誇れる場所として売り出すためにも道路改良をしてほしい。
- ◆ 観光標識・案内看板の充実をしてほしい。

- ◆ ゴールド集落の計数に問題がある。幼児は除外し、せめて高校生以上をカウントしてほしい。

3 意見交換会の価値について

《意見交換の概要》

- ◆ 前回の意見交換会に対し、何らかの回答、若しくは結果が得られたか不明である。意見交換会の内容をどういう時に活用され審議されたのか伺いたい。
- ◇ 各地域での意見交換会で出された案件について、議員それぞれの立場において市長に対し政策提言を行い、今までも様々な施策が実行されてきているところである。例えば防犯灯の設置基数の増、竹チップ材への補助額増による地域経済への貢献など、地域の皆様方の様々な思いや要望を繋ぎ市政の活性化に活かしているところである。

4 その他

《要望等》

- ◆ 合併して10年になる。前回も申し上げたが浄化槽維持管理の費用が異なっている。八重地区は川内地域と比べて高額であるが、同一した値段に統一できないのか。
- ◇ 浄化槽維持管理業者間の取り決め、協定があり合併当初から統一できなかった面がある。もう少し内容を調査して報告したい。
- ◆ 竹林の整備など、環境保全にも有効となるので竹パルプ用紙の利用拡大が必要ではないか。
- ◇ 市においては、広報紙や名刺活用など議員を含め職員も竹紙の利用を積極的に行い、啓発・宣伝をしているところである。